



多
田
龍
介

◆ 目次

えぐみ	6
やったった	8
そうも思わないけど	10
マナ	12
マウント不治	14
お呼びでない	16
ちよつと苦情を	18
二つの世界	20
夢想と現状	24
モブの夢	26

飲み過ぎたのは	28
苦樂を共に	30
悲喜こもごも	32
短詩	34
ナイトメア	36
格言集	38
ぬるぼ	40
弁証法？	42
秘密同盟	44
ぼつり	46
自主規制	48
あとがき	50



えぐみ

ホロコーストの記事を読んでも
隔離施設の恐怖はわからない
わからなくていいんですよ
わかつたころには手遅れ
浅い人間で終わらずに
よかつたと思う今日
君は何も知らない
キャベツ畑から
赤さんが来る
信じている
来たらず
赤さん

三 南
無

やっ た っ た

消えないことが

したかったんじゃないでしょうか

何、犯罪というんじゃない

運命を決定づける行為

タトゥーもそういう衝動から

という面もある

やめたほうがいいですよ

犯罪に堕^だしがちか

セックスというところは
したらいいと思う

男の場合だが

B CとA Dくらい変わる

大して変わらんか

そうも思わないけど

クズ多し

ああ、然るや

クズ多し

多ければ

クズを向こうに

戦えるかや

人を指さす前に

君の手が汚れてないか

確認してくれ

あ、さよう

我もまた

クズかもしれぬ

クズどもと

思いながら

街行く姿

まさにクズ

女…私ニーチエとか、嫌いなんで

ナム

マナ

ちよつと昔なら

名も名乗れない者に

何も任せられん

という感覚が

あつたように思う

今は違ふのね

変な人が増えましたからね

名も名乗つたとたん

執拗に追いかけられたり

そんなん考慮しとらんよ

やあやあ

我こそは関羽雲長とか
名乗り終える前に
うんちよくらいで
首取られちゃったり

マウント不治

己の立場に満足してなさげな人がいる
方々にバカと言って回っている

何とも残念な

キャパの狭さなのだ

人間は賢いと言えるほどの何物も
持っていない

レスバになった場合

ただ強情なほうが勝つだけの

僕もそんなせめぎあいに疲れ
今や酒を飲むだけの

いいんだよー

ってジャンキーじゃないですか

行きつくところまで行くっきゃねえな？
誰が教えた、誰か止めて

お呼びでない

狂える世界の中で

正常なのは己一人だったら

己一人が狂っている

ということになりはすまいか

ガリレオさん

あなたのような身の上になるとは

せめても身の回りだけは

青く清浄なる世界にしておこう

そのためのやり方や技術
バカにならない

身の回りを少し広げること
も可能

どうれ、見せて進ぜよう
何もしないで寝ててくれ、と言われ

ちよつと苦情を

財務省しねとごとくにのしかかる

千円の壁も超えてくお弁当

厚労省やりおおせては口ぬぐう

君知るや苦い涙のパンの味

僕もまた知らなかったよ明日我が身



二つの世界

まじめな世界と
不まじめな世界

光と闇と言ってもいい
こつちとあつちと言ってもいい

あつちの世界に魅かれつつも
こつちに割り込んでもらっては
困るのだ

といっても

僕は不まじめな世界に

住んでいるので
あつちはこつちに
こつちはあつちに
なるだろうが

屈強な

ボディガードが
泣き崩れるとこ

見てみたい

あ、それ、いつきいつき

そんな理由で動いてもらっちゃ
困るんだよ

目指すべきものは

外はカリッと中はふわつとである



夢想と現状

「日本を失敗できない国にしない」
というコピーを見た

あまりいいコピーだと思わない

日本はもう失敗できない国だからだ

だいぶ前から若い子は

「間違えたら、死あるのみ」と思つて
事に当たっているだろう

実際、ドナドナされる人を
多く目の当たりにしてきた

僕個人で言えば

特に失敗とも思わないが

なぜと言つて己で選んで進み

こんな天才ができたとなれば

失敗したとき、イインダヨーつて

誰か言つてくれますか

言わないでしょう

烈火のごとく怒るじゃないですか

ならその旨、言つとかないと

モブの夢

物語で生きなくてもいい

僕はそう思う

たとえば

主人公補正がかからない、だと？

また主人公補正がかかった人間が
いともたやすく屠^{ほふ}られている？

脈絡がない

ヤマもオチもない

大体、これから復活するって

どう復活するんだよと
失ったものが多すぎて

と、そんなことには囚われず
ソフトウェアをば

漂いの中にも趣があり
低調の中にも道があり
いいかもしれないね！

飲み過ぎたのは

関税は愚かだと僕も思う

関税はいかんぜいなんつって

停戦の仲介については

特に愚かと思わない

他にあなたを救える方法を

僕は知りませんという具合だ

ときに誰も己をナチだとは思わない
稀有なことだ

ええ、ナチじゃないですからね
ちなみに

武勇伝を振りかざす元ヤンか
フリーパスを与えないでください

悲しみて僕の体は
はちきれんばかりだ

苦楽を共に

楽しいって思えるならいいじゃん
楽しくないんだゝ

そんな苦しみを
強いたのか

迷惑をかけていいんだ
家族だからだ

家族じゃなかった
ブラザー、アームノットユアブラザー

世知辛い世の中です

食いつ食われつ生きていく

昨日の推しが今日のゴミだ

世間は冷てえよ

それでも僕は

自分を信じてる

悲喜こもごも

S N Sを巡回する

愛していると綴られており

僕も愛しているよと

心で思い

満たされる

時に会ってみる

感想を述べてみる

「許さねえからな、

初対面で好きと言ったくそ男！」

なぜなのか

世界は既に

意志と表象に

もとい

ネットとリアルに

分かれていたのである

短詩

俺に命令するな

と令和に吠える、犬一匹

いかれた場所に置かれた花が一輪

枯れずに残っている



ナイトメア

ワシントンDCが

ゴッサムシティになっているが

大丈夫か？

大丈夫だ

問題ない

信じられるかあ

隣人がジェイソンになつて

襲ってくるんだぜ

そんな恐怖は知らないもん

何も言えねえよ

沈みゆく船で

最後まで演奏をしていた

楽団の気分

ん、タイタニック

て、どうにかしてくれと

格言集

作家なら言いたいことがあるなら
SNSで小出しにせずに

作品にすべてぶつけろと編集者が

僕は毎朝つぶやいて

それらすべてが詩になつて

僕、アホリズムさ

アホリズムじゃ

いいんだよ、そんなことは

まあ、漫画と小説と詩じゃ違うし

好きに吠えてろ、僕も吠えてる

ぬるぽ

高額医療費削減案に

殺人未遂だと異を唱える方が

志ある方だが

現状認識が甘く

国家はもう完遂しておりますよと
お伝えしたく

戦争できる国になったら

また多く人が死ぬかもと学生が

考えてくれて

しかし現状認識が甘く

もう多く死んでおりますよと
お伝えしたく

そして誰も詫びに來ない
悲しい実相

弁証法？

己の欲せざるところ人に施すなかれ
これは真だろう

では、では

己の欲するところ人に施すべし
これは

やめたほうがいいだろう

なぜと言って

人が喜ぶとは限らないからだ

音楽を聴く

人に聞かせてあげたい
爆音で聞く

やめてあげてください

AであればBである

のでCであるとは言えない

みたいな論法で話そうとする方を
見かける昨今

ははっ、俺の主張は

もともと論理の枠の外さっ

自慢にならない

秘密同盟

本を読むとき

書き手と読み手の間に

秘密同盟が成立する

これが好きだ

紙の本ならではの

スマホでは

秘密同盟は

保証されない

感じる

ダダ洩れているのを

でも本読まない
三行以上は読めない
三行革命後の
電気の子たる
僕は

ぽつり

ああ、生きて
逝くだけの人生だ
なんて
気のない返事
は生存の限界
日々の暮らしと
とりとめのない話
を繰り返して
コロコロと
労働もなく
好きもなく



自主規制

体験の深いときに詩を書かない
詩人じゃないんだと言われ

そうでもない

書けないのだ、気を使い

多動性障害人と認知症人を抱え
アル中人の僕の珍道中

なんて書こうものなら
どこにも収録できない、角が立つ

しかし文字に起こすとすごいな
けどそういうことなんですよ

喜ぶわけないだろうがっ
もういやいやいやの祖^い谷^や溪谷

あとがき

この詩集は、二〇二五年一月から二〇二五年三月にかけてネットに投稿したものから選んでまとめた。自由詩を基調に川柳、五行歌とが少し混じって二十一編からなる小冊子だ。

三月に家族で四国旅行に行った。松山から入り道後温泉、電車で金毘羅山、祖谷溪はかずら橋を見て、高知の植物園を観光して帰ってきた。

写真はその時、姉が撮ったものである。コピーライト・姉だ。どうもいい写真を撮ろうと思ったら、多少挙動不審になるのは免れない。そういう動きをしての姉のいい写真を、ありがたく使わせてもらった。

詩の内容はほとんどが旅行前に書いたもので、写真と合うかはわからないが、いい具合になっていると嬉しい。思うに、いい創作物は予見的なのだ。だから大丈夫、なはず。それでは、読んでくださった方に感謝を込めて。

二〇二五年四月十一日

多田龍介

ぽつり



令和七年四月十二日 初版発行

著者	多田 龍介
発行者	多田 龍介
発行所	明水工房

©Ryusuke TADA 2025

